

〔そのとき、イエスは弟子たちに言われた。〕「わたしが父のもとからあなたがたに遣わそうとしている弁護者、すなわち、父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのだから、証しをするのである。 -中略- 言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。」

-ヨハネ 15 章-

## 聖霊の人となる

繰り返し強調しますが、

「主の昇天」は、世に対する主の勝利の証しであり、私たちの未来の姿を示した出来ごとでした。それは、主が、悪霊の支配下にある人類を悪霊から取り戻すために、自我に住み着いて人間をコントロールしている悪霊と戦い、勝利して、その「勝利の道」を私たちに歩ませるためでした。

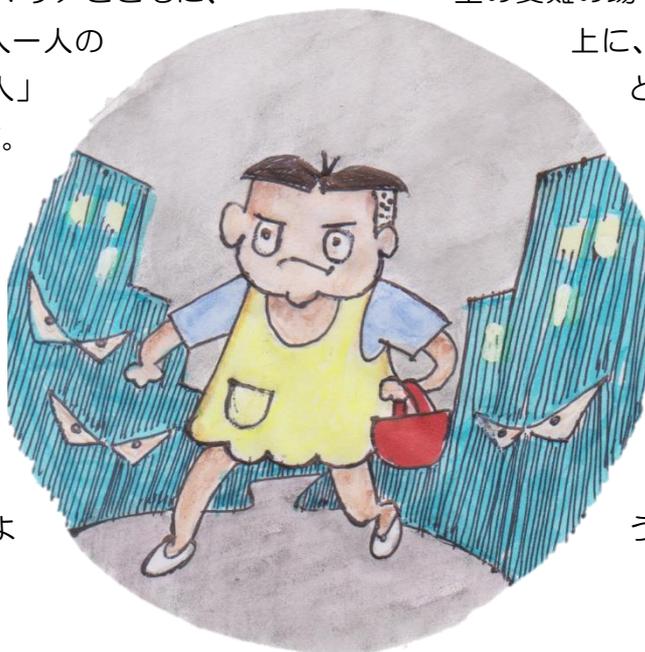
悪霊に「勝利する道」はただ一つ。それは悪霊が住みかとしている「自我に死んで天の御父に従う」ことです。拘束された肉の体（自我）を捨てて、自由が利く「心」で神に向かう場である「十字架」に上ることでした。

聖霊は、生前の人の子イエスを神と悟れなかった弟子たちに、肉の目に変えて、霊の目を与え、気の弱い臆病な心を勇敢な心に変え、信じる者に世に対する勝利を実現させる神なのです。

主の指示を守って、御母マリアとともに、  
離れなかった弟子たち一人一人の  
が降り、一同は「聖霊の人」  
の教会」が誕生したのです。

聖霊は、信じる人々が  
ための世の箱舟（教会）  
人々の家となりました。

したがって、聖霊と  
もはや、オオカミの群れ  
っても「イエスの証人」  
しめて死をも恐れませ  
かける、あの幼い子供のよ



主の受難の場であった「エルサレム」を  
上に、父からの約束だった聖霊  
となりました。ここに「主

父の家（樂園）に戻る  
となって聖霊に従う

ともにある私たちは、  
の中の一匹の子羊であ  
となる使命を胸に抱き  
「初めてのお使い」に出  
うに！

病身の母親を助けるため病院まで薬を取りに行く使命を持って出かける幼児のテレビ番組